

来月から

15地区で地域ミーティング

「生の声」市政反映へ

伊東市の小野達也市長は20日、「地域タウンミーティング」を7月下旬から9月下旬にかけて市内15地区を対象に10会場程度で開催していく考えを示した。市議会6月定例会の市長所信表明に対する質問で、正風改革クラブ、民進クラブへの答弁。

市長自らが地域を訪れ、より多くの住民の

生の声を聞くことで世論の動向を把握し、市政に反映させるのが開催目的で、市側は市長、副市長、市長戦略監などの出席を予定しているという。

未来ビジョン会議についても答弁した。産業や文化、体育などに関連する団体の青年部代表、移住者、子育て世代の女性、市若手職員ら15人程度での構成

を想定しているとし、市が推進する重点施策など個別の事案をテーマに協議、検討を進めていくことを考えている、と説明した。